

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 浄水課	担当課長名	朝野 武彦
(※)第1期実施計画の事業名	浄水施設更新事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3061 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目1施設更新事業の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	浄水施設の長寿命化も図りながら、順次更新する。
事業の対象(誰を、何を)	古江浄水場の各施設
事業の手段・方法(どのように)	電気設備、機械設備の更新工事
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		152,503	490,964	495,783	863,187	101.0%
主な内訳	施設整備費	133,913	428,886	435,097	757,966	101.4%
	建設改良費	18,590	62,078	60,686	105,221	97.8%
人件費(人・千円)		0.50 3,900	0.50 3,900	0.50 3,900	0.50 3,800	100.0%
内訳	正職員	0.50 3,900	0.50 3,900	0.50 3,900	0.50 3,800	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト		0	0	0	0	-
支出合計 A		156,403	494,864	499,683	866,987	101.0%
財源	国・府支出金					-
	地方債	66,900	214,400	217,500	378,900	101.4%
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		89,503	280,464	282,183	488,087	100.6%
一般財源比率 C÷A		57.2%	56.7%	56.5%	56.3%	99.6%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業が主に民間に発注する工事であり、工程管理、既設との取り合い調整等は職員で行う方が望ましい。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	施設の更新工事の実施率	%	13.4	56.5	100	-	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江浄水場の機能更新率	%	14.9	57.2	100	-	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		予定していた機能更新を100%達成できたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	当初の予定通りに工事が進捗し竣工した。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	設置後30年~40年経過し、老朽化した施設の更新事業について継続的に実施し、安全で安心の水道水を安定的に供給していく。
現在抱える課題とその対策	課 題 浄水場施設及び外部施設について、耐震化が未実施である。 対 策 計画的に耐震補強を実施し、震度7程度の地震に対応する施設を構築していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	成果指標は、順調に推移している。今後も、施設整備計画に基づき、設備更新事業及び耐震化事業を継続していく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部水道工務課		担当課長名	加藤 正和	
(※)第1期実施計画の事業名	配水施設更新事業		財務会計上の事業名		
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3061	2	財務会計上の短縮番号		
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち			
	節	第6節上水道事業の充実			
	項目	項目1施設更新事業の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	有収率と耐震化率の向上により、収益と災害に対応出来る強固な管路の構築。
事業の対象(誰を、何を)	老朽化した配水管(耐用年数40年以上経過管)
事業の手段・方法(どのように)	老朽化した配水管を耐震管に布設替する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		211,250		220,539		233,056		333,148		105.7%
主な内訳	配水管布設費	211,250		220,539		233,056		333,148		105.7%
										-
人件費(人・千円)		0.80	6,240	0.80	6,240	0.80	6,240	0.80	6,080	100.0%
内訳	正職員	0.80	6,240	0.80	6,240	0.80	6,240	0.80	6,080	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		217,490		226,779		239,296		339,228		105.5%
財源	国・府支出金									-
	地方債	145,800		119,100		225,000		182,500		188.9%
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	71,690		107,679		14,296		156,728		13.3%
一般財源比率 C÷A		33.0%		47.5%		6.0%		46.2%		12.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業が主に民間に発注する工事であり、事業計画、工事調整は職員で行う方が望ましい。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	老朽管の更新(耐震管に更新3km/年)	m	2,928	3,349	2,284	3,025	3,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	老朽管の残存延長(総延長約60km)	m	53,143	49,794	47,510	44,485	46,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		工事延期等があり、目標とする更新延長3kmに達しなかったため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		全ての老朽管を更新することが目標であるが、重要施設への供給ルートを優先して耐震化更新することにより、災害時の被害を最小限に抑えることが出来る。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	更新のスピードアップを図るため、年度毎の予算を上積みして計上。	
現在抱える課題とその対策	課 題	大口径の幹線管路の更新。
	対 策	代替ルート等、複数ルート化の検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	災害に強い管路整備促進のため、今後も老朽管の更新をスピードアップする等、施設整備計画の範囲内で事業の拡充が必要と考える。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部水質管理課	担当課長名	乾 弘志
(※)第1期実施計画の事業名	水質検査体制強化事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3062 2	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目2安全で安定した水の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	水質検査体制の強化を図り、市民からの信頼性を高める
事業の対象(誰を、何を)	水道水の水質検査
事業の手段・方法(どのように)	自己検査項目の拡大及び水道GLPの維持
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度～) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25	
事業費(千円)		0	585	54	7,998	9.2%	
主な内訳	手数料		585	54	368	9.2%	
	施設整備費 委託料				7,630	-	
人件費(人・千円)		0.00	0	0.95	7,410	100.0%	
内訳	正職員	0	0.95	7,410	0.95	7,410	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-	
	非常勤職員	0	0	0	0	-	
	アルバイト	0	0	0	0	-	
支出合計 A		0	7,995	7,464	15,598	93.4%	
財源	国・府支出金	0	0	0	0	-	
	地方債	0	0	0	3,800	-	
	その他財源	0	0	0	0	-	
	うち受益者負担 B	0	0	0	0	-	
	一般財源 C	0	7,995	7,464	11,798	93.4%	
一般財源比率 C÷A			100.0%	100.0%	75.6%	100.0%	
受益者負担率 B÷A		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容							

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	設計委託業務
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	水質関連の設計業務については、専門的知識を有するため、委託化することにより、人員の採用を抑制できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値	
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	自己検査項目	項目	42	42	41	46	45	
			水道GLP更新審査の認定	%	-	100	100	-	100	
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない								
選択の理由		自己検査項目の拡大(3項目)については、平成26年度末に検査方法の確立を行ったため、定期検査結果に反映できなかった。また、検査要員の関係により、一部項目について外部に発注した。								
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(本格的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(本格的な見直しが必要)							
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		自己水の比率が高いため、水質検査体制の強化と検査結果の信頼性確保の継続は必要である。効率性については、検査資格者の複数化を進め、今後、柔軟な検査体制の構築を見込んでいる。								

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	自己検査項目については、緊急性及び必要性に応じて拡大を行っており、現状の46項目が適正であると考えている。また、平成27年度に、水質モニター設置のための実施設計を行う。	
現在抱える課題とその対策	課 題	各検査に係る検査担当者の育成に時間を要するため、検査資格者の複数化が進んでいない。
	対 策	複数化が進んでいない検査項目について、優先的に検査担当者の育成を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果指標も27年度達成見込みであり、水質検査の信頼性向上のため体制の強化等、今後も事業を継続していく。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 経営企画課	担当課長名	水越 英樹
(※)第1期実施計画の事業名	水道経営健全化事業	財務会計上の事業名	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	3063 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目3持続的な健全経営の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計(水道事業)
事業の目的(どのような結果を得るか)	安定給水と黒字経営の維持
事業の対象(誰を、何を)	水道事業
事業の手段・方法(どのように)	経営の健全化策を実施する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成23年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		-		-		-		-		-
主 な 内 訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.10	780	0.35	2,730	0.20	1,560	0.20	1,520	57.1%
内 訳	正職員	0.10	780	0.35	2,730	0.20	1,560	0.20	1,520	57.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		780		2,730		1,560		1,520		57.1%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	780	2,730	1,560	1,520	57.1%				
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	経営の健全化策を検討する業務自体は職員自らが主体的に実施すべきものである。ただし、経営健全化のための手段として、お客様窓口の業務委託は可能である。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値(H26)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	黒字額(当年度純利益)	千円	231,405	291,555	▲212,634	7,500	0
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		平成26年度の地方公営企業会計基準の見直しによる退職給付引当金の義務化により、特別損失を計上したことに伴い、平成26年度は赤字決算となった。							
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	平成26年度の赤字は、地方公営企業会計基準の見直しによる退職給付引当金の義務化されたことに伴うもので、改善の余地がない。健全化については、経営健全化計画を策定し、企業債の抑制、繰上償還、人員の削減を図り、平成27年度から浄水場の夜間運転管理業務を委託化するなど順調に推移している。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	企業債の抑制を行うとともに、浄水場の夜間運転管理業務の委託化を実施する。	
現在抱える課題とその対策	課 題	水需要の減少による給水収益の減。
	対 策	窓口業務等の委託化など更なるアウトソーシングの実施。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	浄水場の夜間運転業務の委託等により、健全経営に努めているが、料金収入減少の中、更なる健全化に向け窓口業務の委託等、今後も事業を継続していく。	